

国語プリント No. ( )

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

## 「こころ」作文課題

教科書掲載部分の「こころ」を一読して、かなり入り組んでいるということを感じていることだろう。そこで、整理するために、ある表現を説明するという形で、作文問題を解いて、仲間に説明することを通して、読みを深めよう。

## 【方法】

班員が次の4つの課題のうち1つずつ選んで、それぞれがノートに記入する。(3人の班の場合は、合計3つを選ぶことになる。)

完成したら提出する。(班ごとに重ねて提出すること。)

班員それぞれに、自分が解いた課題を説明し、質疑応答し、周りを納得させる。

締め切り…… 月 日

## 【課題と書き方】

問題の表現と書き方を示す。枠内の( )の中を考え、その前後の語句は( )に合うように適当に書き換え、文意が通る課題にすること。

なお、( )には、1単語が入ったり、複数の単語が入ったり、複数の文が入ったりする。

見開き2頁を使う(字数が足りない場合は3頁目に行ってもよい。

右上に「班」と記すこと。あとはいつもの通り日付、学年組・番・名前を記すこと。

127上30「精神的に向上心のない者はばかだ」という言葉は、Kにとって痛い言葉だ。しかし前にも言ったとおり、私はこの一言で彼がせっかく積み上げた過去をけ散らしたつもりではありません。かえってそれを今までどおり積み重ねてゆかせようとしたのです。」

の表現を説明する。

「精神的に向上心のない者はばかだ」という言葉は、( )が( )のときに( )に対して言った言葉である。そのときに( )は( )に対して( )という意味を含んで使ったので、Kにとって痛いに違いなかったのだ。

しかし、私はこの一言でKがせっかく積み上げてきた( )という過去をけ散らすつもりはない。かえってそれを今までどおり積み重ねていってもらって、Kが( )ことをねらったのだ。

132上08「そのときの私がもしこの驚きをもってもう一べん彼の口にした覚悟の内容を公平に見回したらば、まだよかったかもしれない。」

の表現を説明する。

そのときの私はKがすべての疑惑、煩悶、懊悩を一度に解決して( )「覚悟」だと思って驚いたのだが、もう一度Kが言った「覚悟」を内容を公平に見回せばよかった。なぜなら、Kは最期には( )してしまっただ。ということ、( )の性格のKはすべてを解決するために( )をこのときに「覚悟」していたかもしれないからだ。このことに気づいていれば、( )かもしれない。しかし、それに気づかなかった私は焦って( )してしまった。

140 上 14 「いつも立て切ってあるKと私の室との仕切りの襖が、この間の晩と同じくらい開いています。」

の表現を説明する。

いつも立てきつてあるKと私の室との仕切りの襖が、この間の晩（ ）（時の晩）と同じように開いていた。ということは、Kは（ ）に襖を開けたのだ。この間の晩は、Kは私起きたときに（ ）が、今回はそんなことはしなかった。そしてKは襖を閉じずにそのままにしていた。ということはKは私に（ ）もらいたかったのかもしれない。なぜそんな行動をしたのか？ Kは室の中で自殺した。人知れず、誰に言うことなく自殺するのではなく、私の隣の室で自殺した。それは（ ）からだ。

141 下 10 「最後に墨の余りで書き添えたらしく見える、もっと早く死ぬべきだになぜ今まで生きていたのだろう」

の表現を説明する。

「墨の余りで書き添えたらしく見える」というのは、その字の濃さが（ ）だったり、形が（ ）だったり、書いた場所が（ ）だったりしていたからだ。つまり、この遺書の最後の部分の言葉は、Kの（ ）という気持ちを表現している言葉だった。

内容の「もっと早く」というのは、（ ）よりも早く」という意味である。なぜなら、Kは（ ）からだ。そしてそれよりも早く死んでしまっていれば、（ ）ことはなかったということの後悔していた。